

令和 7 年 4 月 1 日

調布市福祉健康部福祉総務課

調布市社会福祉協議会

令和 7 年度地域福祉コーディネーター事業等の概要

(令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日)

I 多機関協働による包括的な支援等

◆ 多機関協働の取組

1 取組の概要

地域福祉コーディネーターが複雑化・複合化した支援ニーズを抱える相談者に対し、重層的支援体制整備事業や福祉圏域別専門職等ネットワーク会議等を通して、豊富な社会資源を活用しながら、課題解決に向けた連携支援を行う。

地域住民や関係機関とともに地域生活課題を発見し、受け止めるとともに、多機関協働により課題の解決に取り組む。

2 具体的な取組内容等

(1) 地域の支援関係機関等との連携による地域生活課題の早期把握

ア 事業内容

多機関協働による包括的な支援体制の構築の取組と連動し、各福祉圏域において支援関係機関等のネットワーク構築を図る。

イ 期待される効果

各福祉圏域の地域特性を生かしながら関係機関のネットワークを構築することで、一つの機関だけでは解決しづらい複合化・複雑化した問題を抱えた世帯に対し、チームアプローチによる支援に取り組むことができる。また、地域住民主体の相談を受け止める場とも連携を図ることで、フォーマル・インフォーマルを有機的に組み合わせた、ソーシャルサポートネットワークの構築が期

待できる。

ウ 取組目標

① 量的目標

- ・各圏域において，多機関によるネットワーク会議等を1回実施
- ・支援関係機関等との情報交換及び連携会議を6回実施

② 質的目標

各福祉圏域での専門職の連携強化を図るため，情報交換や連携会議を通して，役割の理解やケース対応への共通認識を深める。また福祉分野の関係機関だけではなく，医療や教育，司法，就労支援，居住支援，商業者等，多様な分野の関係機関との連携を構築する。

(2) 複雑化・複合化した支援ニーズを抱える相談の受け止め

ア 事業内容

複雑化・複合化した支援ニーズに関する相談を，地域福祉コーディネーターが受け止め，多機関協働により課題解決に向けた対応を行う。また，重層的支援会議及び支援会議による支援プランの検討や社会資源の充足状況の把握と開発に関する検討等を行う。

イ 期待される効果

複雑化・複合化した支援ニーズを抱える世帯の相談を受け止め，把握することで，多様な分野の支援関係機関等による包括的な支援体制の強化につながる。また，重層的支援会議及び支援会議を通して，支援プランの検討，既存の社会資源の共有を行うとともに，解決が困難な課題を把握することで，新たな支援メニュー等を検討・整理することができる。

ウ 取組目標

① 量的目標

- ・複雑化・複合化した支援ニーズに関する相談の受付 48件

② 質的目標

複合化・複合化した支援ニーズを抱える世帯の相談を受け止

め、多機関協働による包括的な支援を行うことを通して、支援関係機関の連携体制強化につなげるとともに、各支援関係機関の支援の幅を広げる。また、重層的支援会議及び支援会議等を通じて、支援プランを検討するとともに、把握された支援ニーズや地域生活課題等に対して、参加支援及び地域づくりに向けた支援を一体的に取り組む。

◆ アウトリーチ等を通じた継続的支援の取組

1 取組の概要

潜在的な支援ニーズを抱える者を早期に把握するための体制構築に向けた取組を行うとともに、本人やその世帯とのつながりを形成するための支援や拠点の整備等に向けた取組を行う。

2 具体的な取組内容等

(1) 複雑化・複合化した支援ニーズに対する訪問による相談支援

ア 事業内容

複雑化・複合化した支援ニーズを抱える対象者に対して、アウトリーチを通して、相談支援及び伴走支援による継続支援を行う。

イ 期待される効果

地域福祉コーディネーターがアウトリーチ先で相談を受けることで、複雑化・複合化した支援ニーズの早期発見につながる。また、複雑化・複合化した支援ニーズを抱える相談者に対して、アウトリーチによる支援を通して、継続的な伴走支援を確保する。

ウ 取組目標

① 量的目標

- ・ 年間の訪問件数 1, 440 件
- ・ 訪問による新規相談受付 48 件
- ・ 複雑化・複合化した支援ニーズに対する訪問による相談支援 400 件

② 質的目標

地域にアウトリーチすることにより，地域住民等が把握する個別課題を抱える世帯の情報を把握し，適切に相談支援等につなげることで，地域生活課題の早期発見・早期解決を図る。また，複雑化・複合化した支援ニーズを抱える相談者に対して，相談支援が途切れることがないよう，アウトリーチによる伴走支援を行う。

◆ 参加支援の取組

1 取組の概要

本人やその世帯の支援ニーズを踏まえた丁寧なマッチングとメニューづくり，本人やその世帯への定着支援・フォローアップ，地域における社会資源の活用体制構築等を行う。

2 具体的な取組内容等

(1) 個別性の高い支援ニーズに対する取組

ア 事業内容

本人やその世帯のニーズや抱える課題などを丁寧に把握し，社会資源や支援メニューとのマッチングを目指した継続的な支援を行う。

イ 期待される効果

個別ニーズに対応するため，本人やその世帯の支援ニーズと地域の社会資源との間の調整を継続的に行うことで，多様な形での社会参加の実現が期待できる。

ウ 取組目標

① 量的目標

- ・ 複合課題を有するケースにおける本人及び家族への継続支援
400件
- ・ 複合課題を有するケースにおける地域住民や専門機関との継続

支援 800件

②質的目標

既存の各種制度における社会参加支援に向けた支援では対応できない個別性の高い支援ニーズを有している人に対し継続的に支援を行うことで、多様な形での社会参加の実現を目指していく。

(2) 狭間のニーズに対する受け皿の拡充に向けた取組

ア 事業内容

既存の社会資源への働きかけやその拡充を図り，本人やその世帯の支援ニーズや状態に合った支援メニューをつくることを目的に，本人やその世帯と社会とのつながりづくりに向けた支援を行う。

イ 期待される効果

本人やその世帯の社会参加に向けた支援を行うために，社会福祉法人や企業・商店等へ働きかけを行うことで支援メニューを増やすことが期待できる。

ウ 取組目標

①量的目標

- ・社会福祉法人や企業等並びに既存の社会資源等への働きかけ
400件

②質的目標

社会福祉法人や企業並びに既存の社会資源等へ多様な支援メニューが作られるよう働きかけることで，狭間のニーズを有する者の受け皿としての機能を拡充していく。

Ⅱ 住民主体の地域における支え合いの仕組みづくり

1 取組の概要

介護，障がい，子ども・子育て，生活困窮等を対象にした地域づくりに係る事業を一体的に実施し，社会的孤立解消の支援とともに，地域における多世代の交流や多様な活躍の場を確保する地域づくりに向けた支

援を実施する。また、そのための新たな担い手の発掘等を行う。

2 具体的な取組内容等

(1) 地域づくりに向けた支援

ア 事業内容

自治会等の地縁組織，地区協議会，ひだまりサロン，当事者会・家族会，関係機関等に対して，地域住民自らが地域生活課題を主体的に捉え，その解決を試みることができるよう働きかけ，支援を行う。

イ 期待される効果

地域生活課題を主体的に考える意識を醸成することで，各種団体の取組がより推進されるとともに，地域活動に参加する人が増える。

ウ 取組目標

① 量的目標

160団体に対し，話し合いの場づくりやイベント等の取組への働きかけを480回行う。

② 質的目標

話し合いの場の創出等により，地域住民が主体となって地域生活課題に関われるよう働きかけることで，地域住民の意識や行動の変化を促す。

(2) 地域住民等が相互に交流を図ることができる場の整備

ア 事業内容

地域生活課題を抱えた方も参加しやすく，誰もが気軽に立ち寄り，交流できる地域住民主体の場の整備について，地域住民や関係機関とともに検討を進める。また，地縁組織やひだまりサロン，ボランティア団体等の取組の中で地域生活課題を把握できるように働きかけるとともに，地域住民主体による相談を包括的に受け止める場の構築を目指す。

イ 期待される効果

ひだまりサロンや当事者・家族会，社会福祉法人等，既存の地域資源の活用を通して，地域住民の交流，孤独・孤立防止，見守り体制の構築，個別ニーズ及び地域ニーズの把握，地域福祉の担い手の発掘等が期待できる。また，相談を受け止める地域住民の増加やアウトリーチ先で相談を受ける機会が増加することで，地域生活課題の早期発見・早期解決が図られる。

ウ 取組目標

① 量的目標

ひだまりサロン等の交流の場の新規立ち上げ 8箇所

② 質的目標

ひだまりサロン等の交流の場を，地域生活課題を発見する拠点にするとともに，地域福祉の担い手の発掘等につなげる。

(3) 住民同士が交流できる多様な地域の拠点（居場所）の整備

ア 事業内容

地域生活において，社会的孤立や生きづらさ，生活困窮等をはじめとする多様な社会課題等が複雑化・複合化することによって，解決が困難な状況にある本人や世帯等に対して，世代や属性を超えて交流できる拠点（居場所）の整備等，多様な地域活動が生まれやすい環境整備を推進するため，補助金を交付する。

イ 期待される効果

多様な地域活動の創出や既存の拠点（居場所）等の拡充への支援をするとともに，その活動や拠点が地域の中の社会資源として交流・社会参加・学びの機会を生み出し，身近な地域における住民主体による共助の取組の活性化につながる。

ウ 取組目標

① 量的目標

- ・新たな拠点（居場所）の立ち上げへの支援 1回
- ・既存の拠点（居場所）の拡充への支援 2回

② 質的目標

多様な世代や属性を対象にした地域活動への支援を行うことで、住民自らが地域生活課題を把握すること、地域生活課題を抱える本人やその家族に対する支援メニューや社会参加の機会づくり、当事者や地域住民の主体的な活躍の機会の創出、地域福祉コーディネーター等のアウトリーチ先としての拠点（居場所）整備へつなげる。

(4) 地域住民の相談を包括的に受け止める場の周知

ア 事業内容

地域住民の相談を包括的に受け止める場について、アウトリーチ等を通じて、その存在と役割等の周知を図る。

イ 期待される効果

地域福祉コーディネーターの役割及び地域住民の相談を包括的に受け止める場等について、認知度が上がることで、問題が発生した時に相談しやすい環境が構築できる。

ウ 取組目標

① 量的目標

- ・啓発件数 800 回

地縁組織や関係機関への会議やイベント、地域福祉活動等へ出向いて啓発する。また、社会福祉協議会が実施している小地域交流事業等においても啓発する。

② 質的目標

地縁組織や関係機関、地域住民主体の拠点等への周知のほか、社会福祉協議会が実施している小地域交流事業等、各地域のイベントにおいても広報し、相談を包括的に受け止める場の認知度を高める。

(5) 地域住民等に対する研修の実施

ア 事業内容

地域住民等に対し、地域生活課題の理解促進を図る取組（講座・勉強会・視察等）を実施する。

イ 期待される効果

この取組に参加することで、住民一人ひとりが地域生活課題を発

見・把握・理解し，地域生活課題への興味・関心を持ち，地域福祉活動に主体的に関わっていくきっかけをつくる。

ウ 取組目標

① 量的目標

16回

② 質的目標

地域住民等に向けた講座・勉強会・視察等を実施することで，意識及び行動の変化を促す。

(6) 大学との連携による地域福祉推進の担い手づくり研修の実施

ア 事業内容

ルーテル学院大学の地域福祉ファシリテーター養成講座との連携により，地域住民等に対して地域福祉推進の担い手づくり及びそのフォローアップを行う。

イ 期待される効果

講座を通して，地域住民自らが地域福祉ファシリテーターとして，地域福祉推進の役割を担い，生活困窮等につながる地域生活課題を考えることや地域活動者をつなぐ役割を担える人材となってもらおう。

また，講座修了生とともに地域生活課題の把握及び既存の社会資源の把握を行い、その課題解決や啓発に向けた活動や取組を通して，地域福祉ファシリテーターとしての役割や目的の理解が深まる。

ウ 取組目標

① 量的目標

・令和7年度地域福祉ファシリテーター養成講座 11回

・講座修了生との検討，視察及び活動実施 4回

② 質的目標

地域住民自らが地域福祉ファシリテーター養成講座に参加することで，地域を考えるきっかけにつなげる。

講座修了生とともに地域福祉ファシリテーターとしての調布市に

おける役割や目的を考え，講座修了生一人ひとりが主体的に地域生活課題に向き合い，行動につなげる人材となる。